



SHOCHIKU
OTANI
LIBRARY

65th

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

令和6年2月9日発行

No. 311 (2024年2月)

■第101回所蔵資料ミニ展示「劇作家・川村花菱 いまふたたび—— 生誕140年」開催中

本年は大正昭和期に活躍した劇作家・川村花菱（かわむらかりょう）の生誕140年にあたります。

当館は川村花菱に関する資料を多数所蔵していることから、花菱が残した数々の作品資料を通して、多くの新作脚本や翻案劇が上演された日本の近代劇の世界に改めて触れていただこうと、今回の展示を企画いたしました。

花菱は主に新派を活躍の場とし、歌舞伎の新世話物や映画作品なども執筆した劇作家です。早稲田大学在学中より、劇評家・伊原青々園の知遇を得て、雑誌『歌舞伎』に劇評や戯曲を発表していました。卒業後の明治41[1908]年、俳優・藤澤浅二郎が開校した東京俳優養成所、のちの東京俳優学校の教師となります。

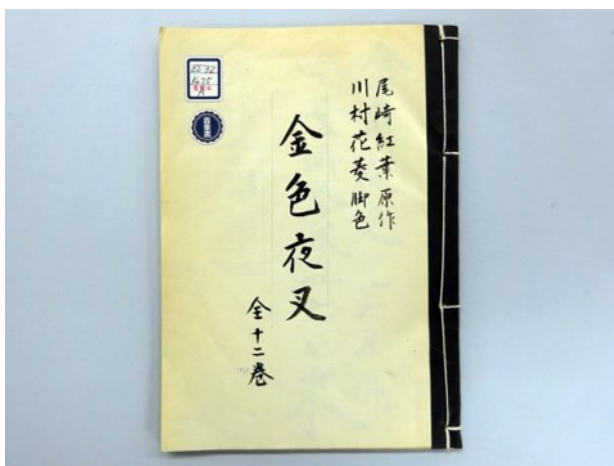
有楽座で近代劇の定期興行「土曜劇場」の創設などに参加した後、大正時代には島村抱月が主宰する芸術座で脚本部員兼興行主事として、演劇の興行面でも手腕を発揮しました。

芸術座解散後は諸劇団に多くの脚本を提供し、尾崎紅葉『金色夜叉』、徳富蘆花『不如帰』といった舞台化もされた人気小説の映画脚色でも活躍しました。

昭和のはじめには新派の座付作者としてさまざまな新派作品を脚色・演出し、多くの新派俳優を育てました。代表作としては、『母三人』などが知られています。

また、歌舞伎にも『上州土産百両首』など現在でも上演される新作を残しています。

今回の展示では、貴重な自筆原稿や演出台本、舞台写真など約25点を展示しております。現在、資料のご利用は予約優先となっておりますが、展示企画はご予約なしでご覧いただけますので、ぜひ、劇作家・川村花菱の作品世界に触れにいらしてください。お待ちしております！



映画台本『金色夜叉』昭和7年



歌舞伎台本『上州土産百両首』

目次:

第101回所蔵資料ミニ展示「劇作家・川村花菱 いまふたたび—— 生誕140年」開催中	1
読書新聞(関西)で松竹座ニュースデジタル化の取り組みをご紹介いただきました	2
歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載:2月「階上から…」	2
資料紹介「今月の芝居から」	2
資料提供	3
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
春期休館のお知らせ	4
松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い	4
利用案内	4

開催期間: 令和6(2024)年1/26~3/1 平日: 10~17時
(休館日: 土日祝日、毎月最終木曜日)
開催場所: (公財)松竹大谷図書館 閲覧室 / 入館無料

■読賣新聞(関西)で松竹座ニュースデジタル化の取り組みをご紹介いただきました

この度、1月27日(土)付「読賣新聞(関西)」夕刊で、昨秋当館が実行したクラウドファンディング「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」のご支援で現在進めている松竹座ニュースのデジタル化について、大きくカラーでお取り上げてご紹介いただきました。関西版限定の掲載ですが、Web版でもご覧いただけますので、こちらのURLよりご覧ください。

<https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20240127-0Y01T50016/>

現在の松竹座ニュースデジタル化作業の進捗ですが、今回デジタル化を進めるにあたって確認作業を行った結果、「松竹座ニュース」に挟み込んであった「松竹楽劇部公演」のパンフレット14点や映画のパンフレットやチラシ27点などを資料として独立させたため、当初作業を予定していた約600点よりデジタル化を行う資料数が増えています。また、大阪松竹座の資料以外にも、「大劇週報」38点など松竹楽劇部が昭和10年代に拠

点としていた大阪劇場の資料も合わせて、現在約700点の資料の補修とデジタル化を進めています。

現在は、株式会社資料保存器材に依頼して撮影前の作業(ステープル外し、癒着部分の剥がし作業など)を進めております。

そして、この作業が終わると、次は京都の立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)へ搬出し、いよいよデジタル撮影が始まります。作業の進捗は折々【第12弾】クラウドファンディングの活動報告やニューズレターなどでご報告してまいりますので、引き続き「松竹座ニュース」デジタル化プロジェクトの応援を宜しくお願いいたします。

第12弾URL:<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan12>



■歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載:2月「階上から…」

当館デジタルアーカイブより、選りすぐりの歌舞伎プロマイドをご紹介する歌舞伎座筋書の連載「明治大正昭和 レトロ写真館」。連載2回目となる今月2月のテーマは「階上から…」です。二階から、バルコニーから、楼門から…といった階上からの場面を撮影した舞台写真4点をご紹介します。

こちらは、昭和6(1931)年2月に帝国劇場で上演された『シラノ・ド・ベルジュラック』の舞台写真です。歌舞伎初の海外公演を当時のソヴェトで行い、数々の翻訳劇を上演した二世市川左團次が、エドモン・ロスタンの戯曲の翻訳作品で初めて主人公シラノを演じ、話題となりました。写真は、シラノ(二世市川左團次)とクリスチヤンがロクサアヌ邸のバルコニーの下に隠れてクリスチヤンがロクサアヌ(二世市川松蔭)に恋心を打ち明ける場面です。バルコニーの上から、クリスチヤンの美しい

愛の言葉を聞くロクサアヌでしたが、実は詩心のあるシラノがクリスチヤンに台詞をつけていて…。洋装の可憐な二世市川松蔭の姿を写した写真、ぜひ筋書、デジタルアーカイブでもご覧ください!

《松竹大谷図書館所蔵・演劇写真検索閲覧システム》

https://www.dh-jac.net/db/butai-photo/search_sol.php



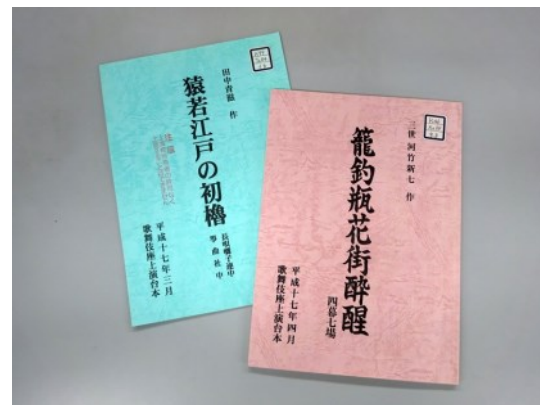
■資料紹介「今月の芝居から」

今年1月より始まったブックトラックでの資料紹介「今月の芝居から」は、歌舞伎座などで上演中の公演作品にちなんだ図書やプログラムなどを手にとってご覧いただけるコーナーです。おかげさまで、たくさんの方にご来館いただいております!

今月2月は、歌舞伎座で上演中の「十八世中村勘三郎十三回忌追善 猿若祭二月大歌舞伎」関連資料です。十八代目勘三郎襲名披露公演の台本をはじめ、インタビュー記事掲載誌や写真集などをご紹介します。

現在、資料のご利用は電話予約優先となっておりますが、資料紹介「今月の芝居から」はご予約なしでご覧いただけます。歌舞伎座ご観劇の前後などに、ぜひお気軽にお立ち寄りください!

開催期間: 令和6(2024)年2/5~2/28 平日: 10~17時
(休館日: 土日祝日、毎月最終木曜日)
開催場所: (公財)松竹大谷図書館 閲覧室/ 入館無料



左)『猿若江戸の初櫓』(平成17年3月歌舞伎座上演 中村勘九郎改め十八代目中村勘三郎襲名披露)台本
右)『籠釣瓶花街酔醒』(平成17年4月歌舞伎座 中村勘九郎改め十八代目中村勘三郎襲名披露)台本

資料提供 (2023年12月～2024年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『歌舞伎特選DVDコレクション第113号』2023年12月13日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「客者評判記」を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第115号』2024年1月10日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「高根宏浩画『源氏物語』衣裳帖」を提供

【放送】芸能きわみ堂「高橋英樹プレゼンツ！市川左團次の芸と人」2023年12月22日(再放送あり)NHKEテレ 「新富座開場式」プロマイド写真を提供

【その他】2023東アジア大衆演劇国際シンポジウム 大衆演劇のグローバル化の旅路「ローカル化の方法としての「翻案」松竹歌劇のレビューから」細井尚子 2023年12月2日台湾国立台北芸術大学(ハイブリッド型開催)「第1回春のおどり」プログラムを提供／歌舞伎座新開場10周年記念「歌舞伎座レトログッズ レターセット」2023年12月 歌舞伎座1階お土産処「木挽町」・オンラインストア他で発売 歌舞伎座筋骨を提供

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系1月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『當辰歳歌舞伎賑』	○	○		
	『荒川十太夫』	○	○		
	『狐狸狸ばなし』	○	○		
	『鶴亀』		○	○	○
	『寿曾我対面』	○	○		
	『息子』	○	○		
新橋演舞場	『京鹿子娘道成寺』	○	○		
	『平家女護嶋 恩愛麻絲央源平 SANEMORI PARTII』	○		○	○
浅草公会堂	『お年玉〈年始ご挨拶〉』				
	『本朝廿四孝 十種香』	○			
	『与話情浮名横櫛 源氏店』	○			
	『神楽飄雲井曲巻 どんつく』	○		○	
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○			
	『流星』	○			
三越劇場	『新皿屋舗月雨量 魚屋宗五郎』	○			
	『東京物語』	○		○	○
南座	『小判掘出し譚』	○			
	『蓄 (つばみ)』	○		○	○
松竹座	『マクロスFと△合わせ 京都南座歌舞伎ノ宴』			○	
	『坂東玉三郎 初春お年玉公演』	○		○	○
	『坂東玉三郎 はるのひととき』				
	『歌舞伎のみかた』(Night KABUKI in Osaka Dotonbori)				○
	『操り三番叟』(Night KABUKI in Osaka Dotonbori)				
	『坂東玉三郎コンサート 星に願いを』			○	

◆他社演劇公演資料(2023年11月～2024年1月)◆(順不同) 文学座『逃げる!芥川』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム/『DIAMOND☆DOGS 20th Anniversary Sunshine Paradise』博品館劇場プログラム/劇団NLT『二階の女』博品館劇場プログラム/音楽朗読劇『The Little Match Girl アンデルセン童話「マッチ売りの少女」より』博品館劇場プログラム/劇団四季『ひばり』自由劇場(四

季)プログラム/ミュージカル『ベートーヴェン』日生劇場プログラム/COCOON PRODUCTION『ガラスの動物園』『消えなさいローラ』紀伊國屋ホールプログラム/PARCO PRODUCE『ミュージカル ジョン&ジェン』よみうり大手町ホールプログラム/『第226回文楽公演』シアター1010プログラム/『令和6年初春歌舞伎公演』新国立劇場中劇場プログラム

◆映画資料◆『アイドルマスター シャイニーカラーズ 第3章』パンフレット/『エクスペンダブルズ ニューブラッド』ポスター、パンフレット/『シネマ歌舞伎 唐茄子屋 不思議国若旦那』ポスター、パンフレット

◆映画パンフレット◆(順不同)『アクアマン 失われた王国』『コット、はじまりの夏』『PERFECT DAYS』『サン・セバスチャンへ、ようこそ』『サンクスギビング』『TVシリーズ特別編集版 名探偵コナン vs. 怪盗キッド』『ゴールデンカムイ』『僕らの世界が変わるまで』『サイレントラブ』『劇場版 君と世界が終わる日にFINAL』『ダム・マナー ウォール街を狙え!』『ジャンヌ・デュ・バリー 国王最期の愛人』『ストップ・メイキング・センス』『BLOODY ESCAPE 地獄の逃走劇』『玉手』『いちご同盟』『六本木バナナ・ボーイズ』『パコダテ人』『TOKYO FIST』『華の乱』『幻の光』『少年ケニヤ』『パタアシ金魚』『ロマンス』『キリコの風景』『緊急呼出し エマージェンシー・コール』『お引越し』『Beautiful Sunday ビューティフルサンデー』『遙かな時代の階段を』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2024年February/『JPL』No. 91/『act guide [アクトガイド]』2024 Season 18/『あぜくら』2024年1月号/『えんぶ』2024年2月号/『ほうおう』2024年3月号/『ステージぴあ』2023年11+12月号/『テアトロ』2024年2月号/『ミュージカル』2024年1月-2月号/『ヨーロッパ通信』20号/『ラ・アルプ』2024年2月号/『花道』41号、42号/『喝采』2024年3月特別号、4月、5月/『紀尾井だより』2024年1月-2月号/『芸劇BUZZ』Vol. 46/『劇評』第22号/『日本劇場技術者連盟誌』No. 13/『日本照明家協会誌』2024年1月号/『日本舞踊』76巻2月号/『文化座』200号

◆映画雑誌◆(順不同)『NFAJニューズレター』2024年1月-3月号/『NFAJプログラム』No. 52/『SCREEN』2024年3月号/『TVガイド』2023年12/30-2024年1/9号、2024年1/12号、1/19号、1/26号、2/2号/『おとなのデジタルTVナビ』2024年3月号/『キネマ旬報』2024年2月号、2月号増刊2023年キネマ旬報ベスト・テン発表号/『シナリオ』2024年3月号/『シナリオ教室』2024年2月号/『ドラマ』2024年2月号/『ロケーションジャパン』2024年2月号/『映画テレビ技術』2024年2月号/『映画時報』2023年12月号/『映画秘宝』2024年3月号/『日経エンタテインメント!』2024年2月号/『文化通信ジャーナル』2024年1月号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『三木竹二』『観劇ノート集成 第二巻 昭和三十年』『観劇ノート集成 第三巻 昭和三十一年』『観劇ノート集成 第四巻 昭和三十二年』『山川静夫の歌舞伎思い出ばなし』『歌舞伎を読む 武の巻 源平合戦』『歌舞伎を読む 念の巻 敵討ちの裏表』『歌舞伎を読む 雅の巻 宮廷の光と影』『江戸の黙阿弥 善人を描く』『全国映画資料館録 2020』『映画に描かれた戦争 戦後70年 松田コレクション』『昭和の映画絵看板 看

板絵師たちのアートワーク』『巨大映画館の記憶』『昭和の東京映画は名画座』『蒲田「キネマの天地」・創造物語 城戸四郎と仲間たち』『無声映画の一齣 小阪撮影所全景』『近衛十四郎十番勝負』『歌舞伎役者・市川雷蔵 のりくらりと生きて』『BUNGAKUZA MESSAGE 2020』『SHOWS EVENTS RIVER SIDE RESORT HOTEL LAS VEGAS AUGUST 1999』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和6[2024]年1月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年1月9日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日までにお電話でご予約いただいた方が優先となります。
当日のご利用も閲覧席に空きがある場合は承っておりますので、お問い合わせください。
展示や資料紹介はご予約なしでご覧いただけます。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- マスクの着用と手指消毒のご協力をお願いしております。

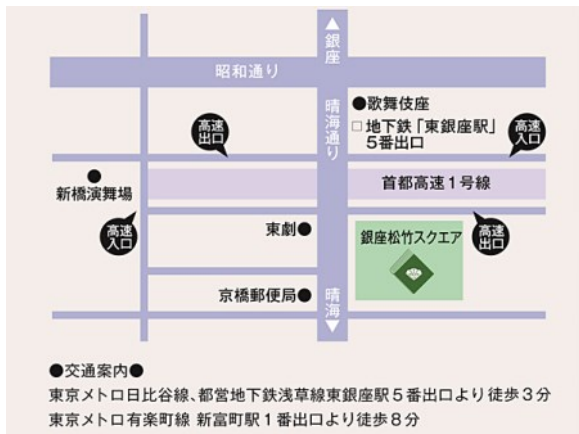
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

令和6年3月2日(土)
3月17日(日)
春期休館のお知らせ



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X

